

2016 富士チャンピオンレースシリーズ 第2戦 レポート

2016 全日本フォーミュラ3選手権 第3戦・第4戦



第1戦で1-2フィニッシュを決めた
B-MAX Racing Team with NDDP



第2戦でポールトゥフィニッシュと
2連勝を遂げた佐々木大樹選手

全日本F3選手権第3・4戦がチャンピオンレースとの併催で行われた。土曜日に予選と第3戦決勝、日曜日に第4戦決勝というスケジュール。土曜日の午前中に行なわれた予選で第3戦のポールポジションを獲得したのは、22 B-MAX NDDP F3 ヤン・マーデンボローの1'34.608。隣には37 ZENT TOM'S F314 坪井翔が並ぶ。Nクラスでは30 B-Max Racing F308 DRAGONが1'38,789でトップ。第4戦は21 B-Max NDDP F3 佐々木大樹の1'33.885、並ぶのは22 ヤン・マーデンボロー。Nクラスは78 Petit LM Racing 片山義章1'37.895という結果。

第3戦決勝は15周、好スタートで22ヤン・マーデンボローがトップに立つがコンマ差で21佐々木が追いつける。残り3周のストレートエンドで21佐々木が前に出てそのままトップチェッカーを受けた。Nクラスも激しいトップ争いが続き0.01秒差で5 ALEX YANG HanashimaF3のアレックス・ヤンが優勝した。21佐々木は「スタートが上手くいかなかったけれど後半でイケると思っていました。チームメイト1-2で良いレースでした」と話している。日曜日の第4戦は21周。スタート1周目には22ヤン・マーデンボローが前に出るが2周目には22佐々木がトップを奪い返す。その後は後ろのバトルを尻目に徐々に差を広めトップでチェッカーを受けた。Nクラスは78 片山が優勝。21佐々木は「F3は前回と今回のみですが連勝することが出来て良かったです」78片山は「DRAGONさんの動きを後ろから見ていて“ここならいける！”と思って上手くいきました」と話していた。



Round 3



RESULT リザルト F3

Rank No.	Name
1	21 佐々木 大樹
2	22 ヤン・マーデンボロー
3	37 坪井 翔
4	23 千代 勝正
5	36 山下 健太
6	12 牧野 任祐



F3-N Class



RESULT リザルト F3-N Class

Rank No.	Name
1	5 アレックス・ヤン
2	30 DRAGON
3	9 廣田 築
4	10 岡崎 善衛



Round 4



RESULT リザルト F3

Rank No.	Name
1	21 佐々木 大樹
2	36 山下 健太
3	37 坪井 翔
4	22 ヤン・マーデンボロー
5	2 石川 京侍
6	12 牧野 任祐



F3-N Class



RESULT リザルト F3-N Class

Rank No.	Name
1	78 片山 義章
2	30 DRAGON
3	9 廣田 築
4	5 アレックス・ヤン
5	10 岡崎 善衛

Super FJ Round 2



RESULT リザルト Super FJ

Rank No.	Name
1	22 赤堀 憲臣
2	2 上村 昌史
3	45 Chang Lutao
4	31 三枝 拓己
5	7 佐藤 セルゲイピッチ
6	36 草野 貴哉

ROADSTER N1 ROADSTER CUP NA6・NA8・NB8 Round 2



RESULT リザルト ROADSTER N1

Rank No.	Name
1	1 大野 俊哉
2	81 安達 陽平
3	2 雨宮 恵司
4	43 大井 正伸
5	22 小林 弘典
6	4 武居 剛



RESULT リザルト ROADSTER CUP NA6

Rank No.	Name
1	23 山川 穰
2	76 辻本 弘
3	10 榎園 均
4	27 野木 強



RESULT リザルト ROADSTER CUP NA8

Rank No.	Name
1	88 山田 健介
2	39 佐久間 達男



RESULT リザルト ROADSTER CUP NB8

Rank No.	Name
1	21 山平 健太郎
2	11 戸田 裕一
3	91 神谷 誠
4	75 澤田 薫
5	77 鈴木 勇太
6	78 赤石沢 清人

快晴の中第2戦を迎えたS-FJ、ポールポジションを獲得したのは、第1戦で2位に入った22 150WMユニオパール10V 赤堀憲臣 1'52,149。続くフロントローには前回初出場で優勝を決めた2 ガレージ茶畑10V ED 上村昌史が1'52,204で並ぶ。好天に恵まれた今回の決勝ではスタートから予想通りに激しいトップ争いが続き、またその後も3位表彰台争いも白熱してきている。レース中盤まで毎周回ごとにトップが入れ代わる状況だったが、後半に差し掛かると22赤堀が前に出てから徐々に2上村との差を広げ、さらに残り2周でファステストラップを叩きだし、そのまま逃げ切りトップチェッカーを受けた。2位には2上村、3位には激戦から抜け出た45 ガレージ茶畑10V ED chang Lutaoという結果となった。レース終了後22 赤堀は「前回の反省点を踏まえて作戦を練り、セッティングも変えてきました。それが上手くはまって優勝できました。上村君も速いから、なかなか大変でした」と話していた。

ナンバー付きロードスターカップ(RSC)車両とN1車両が混走で行なわれるこのカテゴリー。スターティンググリッドはRSCが前で8グリッド空けてN1クラスというグリッドになっている。ポールポジションはRSC NB8クラス21 ファニー SオリーブNB8制動屋 山平健太郎で2'07.367。フロントローにはNA8トップの88 なおしくるアクレNA8 山田健介が並ぶ。N1クラストップは1 コーンズIDIロードスター 大野俊哉 2'09.352のコースレコード更新でトップからのスタート。決勝では予選3番手スタートのNB8 joyアクレMotys☆NB8 戸田裕一が一時トップに立つが、最後まで激しいトップ争い。コンマ差で21山平がトップチェッカーを受けた。NA8は88山田が優勝。NA6は23 JoyアクレMotys☆NA6 山川穰がポールトゥウィン。N1クラスは1大野が逃げ切った。21 山平は「やっとドライで勝てました。後ろからの戸田さんのプレッシャーがすごかったです」23 山川「スタートを失敗してしまったけれど何とか巻き返しました」88山田「一瞬でも総合トップに立ちたいと頑張ったけれど難しいです」1大野「後方の混乱と他のクラスを利用して、逃げ切りました」とコメント。

FCR-VITA



RESULT リザルト FCR-VITA

Rank No.	Name
1	721 居村 征嗣
2	66 横山 慎太郎
3	95 竹内 伸一
4	19 茂木 祐一
5	808 山田 健
6	21 高田 匠

AE86/MR2/NA1600/SILVIA-180

Round 2



RESULT リザルト AE86

Rank No.	Name
1	36 大石 重之
2	41 中村 徹
3	48 深沢 泰司



RESULT リザルト MR2

Rank No.	Name
1	34 奥田 達矢
2	78 谷田 伸行
3	3 土取 謙太郎
4	25 藤永 雅彦
5	20 木邨 一吉



RESULT リザルト NA1600

Rank No.	Name
1	99 竹内 秀伸
2	37 秋元 優範
3	73 小宮 伸介
4	31 高橋 賢一

AE111/N1400

Round 1



RESULT リザルト AE111

Rank No.	Name
1	91 船木 周一
2	11 白井 利明
3	18 塩岡 雅敏
4	32 松川 智泰
5	76 石井 京子



RESULT リザルト N1400

Rank No.	Name
1	0 戸敷 直人
2	31 内田 恒雄
3	26 齊藤 和実
4	3 山田 大輔
5	222 小野田 篤士
6	6 田部井 修

Porsche GT3 Cup Challenge Japan

Round 1&2



Round 1



RESULT リザルト Cup I

Rank No.	Name
1	21 銘苅 翼
2	86 福田 幸平
3	12 Aquira Stanley
4	5 トライ 伸尾
5	11 Fukujirou
6	66 Nao



RESULT リザルト Cup II

Rank No.	Name
1	50 須崎 弘一郎
2	31 小川 勝人

Round 2



RESULT リザルト Cup I

Rank No.	Name
1	86 福田 幸平
2	21 銘苅 翼
3	11 Fukujirou
4	5 トライ 伸尾
5	66 Nao
6	32 永井 秀貴



RESULT リザルト Cup II

Rank No.	Name
1	50 須崎 弘一郎
2	31 小川 勝人

毎戦激しい展開となるこのカテゴリーも今シーズンは今回が開幕戦。日曜日午前中に行なわれた予選でポールポジションの座を射止めたのはAE111 91 MAS・IDI・DL・レビン 船木周一 2'02.602。フロントローにはK'sヒロ☆SPM☆IDIレビ 白井利明 2'02.712が並ぶ。N1400クラスは0 戸敷電設ミッドランドED82 戸敷直人が2'09.513でトップ、続いては26.すぐる with東車協青年部EP82 齊藤和実の2'10.676。決勝では好スタートをみせた11白井がトップに立つが終始バトルが続き、ラスト3周で91船木が前に出てコンマ差で先にチェッカーを受けた。N1400クラスでは2番手争いが白熱の際に0戸敷が後続を引き離してポールトゥウィンで優勝した。2位には31 ケイユーサービスキネ82 内田恒雄となった。レース終了後91 船木は「離された時には着いていくのがやっとでしたが、途中から白井さんのタイヤがタレてきたように見えたので巻き返すことが出来ました」0 戸敷は「レース前半でAE111のスリッにつくことが出来て後ろを引き離すことが出来ました」と話していた。

開幕戦と第2戦が今回のチャンピオンレースと併催で行われるGT3 Cup。日曜の午前中に予選、午後に第1・2戦が開催された。予選でトップタイムだったのは、Cup- I クラス 21 東京工科大学自動車学校GT3 銘苅翼の1'44.543で、コースレコードを更新して堂々のポールポジション。隣には86 SUNRISE GT3CUP 福田幸平もレコード更新タイムで並ぶ。Cup- II は31 Nissoku 997Cup 小川勝人が1'48.678でトップ。第1戦決勝では21銘苅が見事なポールトゥウィンで優勝。Cup- II は1周目にトップに立った50 YELLOWCORN GT3 須崎弘一郎が優勝した。第2戦のグリッドは21銘苅がポールからのスタート、Cup- II は50 須崎がトップからのスタートという順になっている。スタート直後で混戦の合間を縫ってトップに立ったのは86 福田、その後トップを明け渡すことなく10週のレースでトップチェッカーを受けた。Cup- II は50 須崎が連勝。